

4月相場の特徴は？ ～過去10年4月にすべて上昇した銘柄とは～



4月はマザーズ指数とダウ平均が好調

まもなく2016年度が終わろうとしている。英国のEU離脱（BREXIT）、トランプ米大統領の誕生など波乱に満ちた1年だった。そしていよいよ来週から2017年度相場が幕を開ける。本レポートでは新年度相場の展開を予想するヒントを得るために、過去の4月相場の特徴を調査した。まず、表1は過去10年間の外の主要な株価指数や外国為替の4月の値動きだ。

表1：主要指数の4月の変動率（2007年～2016年）

	日経平均	東証マザーズ	NYダウ平均	上海総合指数	DAX指数	ドル円
2007年	0.7%	-10.9%	5.7%	20.6%	7.1%	1.4%
2008年	10.6%	-1.6%	4.5%	6.3%	6.3%	4.2%
2009年	8.9%	12.4%	7.3%	4.4%	16.8%	-0.3%
2010年	-0.3%	12.0%	1.4%	-7.7%	-0.3%	0.4%
2011年	1.0%	2.9%	4.0%	-0.6%	6.7%	-2.3%
2012年	-5.6%	1.4%	0.01%	5.9%	-2.7%	-3.7%
2013年	11.8%	35.8%	1.8%	-2.6%	1.5%	3.4%
2014年	-3.5%	-9.1%	0.7%	-0.3%	0.5%	-1.0%
2015年	1.6%	3.5%	0.4%	18.5%	-4.3%	-0.6%
2016年	-0.6%	10.9%	0.5%	-2.2%	0.7%	-5.4%
上昇回数	6	7	10	5	7	4
下落回数	4	3	0	5	3	6
平均変動率	2.5%	5.7%	2.6%	4.2%	3.2%	-0.4%

（出所）Bloombergデータよりマネックス証券作成 各年とも3月末と4月末の値を比較

表の中で特に特徴的なのは、東証マザーズ指数とNYダウ平均だろう。東証マザーズ指数は過去10年間で上昇が7回、下落が3回と上昇率が7割で平均騰落率は+5.7%だ。昨年（2016年）は日経平均が下落する中でも10%超の高い上昇率を誇っている。日本では4月から新年度入りということで、新たに投資を始める個人投資家の資金が入ってきやすいことが要因として挙げられるかもしれない。

さらに特徴的なのは、NYダウ平均だ。過去10年間4月はすべて上昇している。こちらもしっかりとした理由は定かではないが、「sell in May（5月に株を売れ）」という相場格言もあるように、5月に向け高値をつけやすいアノマリー（理屈では説明がつかないがマーケットに起きやすい事象）が

あるようだ。

海外投資家が 100%買い越している 4 月

続いて過去 10 年間における部門別の売買動向を調査した。部門別売買動向を見れば「個人投資家」・「海外投資家」・「投資信託」・「事業法人」などの各投資主体が株式を買い越したのか、売り越したのかを知ることができるため、市場の需給動向を見極めるための参考データとして重要視されている。一般的には「個人投資家」は株価が下落したときに買い越す「逆張り」の傾向が強く「海外投資家」は高値を買い上がっていく「順張り」の傾向が強いとされている。表 2 で過去 10 年間の 4 月の主要部門の 2 市場（東証・名証）の買い越し・売り越し状況（金額ベース）をまとめた。

表 2：主要な投資部門別の 4 月の買い越し・売り越し状況（2 市場・金額ベース）

年月	個人	海外投資家 (株式)	投資信託	事業法人	信託銀行	海外投資家 (株式+225先物)
2007年	-960,434,327	1,451,906,957	26,640,037	18,404,223	-453,019,696	1,543,347,336
2008年	-901,476,987	936,228,353	32,308,358	-32,459,946	296,343,501	848,735,264
2009年	118,555,520	317,066,976	-42,303,108	-1,572,009	-109,595,717	253,288,369
2010年	-82,552,165	1,016,162,320	-27,308,780	-65,188,532	-135,807,918	954,074,294
2011年	-161,741,487	682,842,883	-2,307,027	3,462,146	-214,439,765	693,185,607
2012年	257,302,084	81,226,475	118,817,763	28,981,914	-118,944,997	92,786,918
2013年	-1,566,349,636	2,579,313,292	29,969,747	-104,643,546	-704,789,884	2,693,170,538
2014年	-214,367,045	293,990,182	45,470,983	-31,475,187	-8,422,653	402,275,553
2015年	-1,420,666,843	1,820,862,898	-115,186,928	-46,961,046	-375,291,102	1,859,499,613
2016年	-663,126,533	858,147,865	126,395,086	73,169,687	125,548,579	1,144,154,749
買い越し回数	2	10	6	4	2	10
売り越し回数	8	0	4	6	8	0

（出所）QUICKデータよりマネックス証券作成 単位は百万円 赤字は買い越し青字は売り越し

表で目立つのが海外投資家の買い越しだ。なんと海外投資家は過去 10 年 4 月はすべて買い越している。こちらもしっかりとした理由は定かではないが、日本の新年度入りに合わせて買いを入れてきやすいようだ。もちろん表 1 で見たように海外投資家が買い越しても日経平均が下落している年があるように、海外投資家の買い越しと株価の上昇が必ずしも直結するわけではないが、傾向としては押さえておいて良いポイントだろう。

4 月に上昇しやすい業種や銘柄は

それでは続いて過去 4 月に上昇しやすかった業種や銘柄を見ていこう。表 3 は東証 33 業種の過去の 4 月の騰落をまとめたものだ。「石油石炭製品」「海運業」「機械」「電気機器」「ゴム製品」「ガ

ラス・土石製品」「水産・農林業」「情報通信業」の8業種が過去10年で7回上昇している。一方で「電気・ガス業」は過去10年で上昇は2回のみと冴えないパフォーマンスが目立つ。

表3：4月の業種別騰落率

業種名	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	上昇回数	下落回数	平均騰落率		
石油・石炭製品	-1.7%	14.3%	3.4%	14.6%	-0.2%	-9.3%	3.9%	6.6%	11.1%	9.0%	7	3	5.2%		
海運業	14.0%	12.6%	13.1%	5.2%	-8.3%	-9.4%	13.1%	-10.1%	4.1%	2.6%			3.7%		
機械	3.3%	14.5%	10.5%	0.2%	-0.6%	-4.7%	14.0%	-3.5%	1.2%	1.6%			3.7%		
電気機器	2.8%	14.5%	16.7%	3.2%	-2.0%	-7.6%	9.6%	-4.2%	2.5%	0.3%			3.6%		
IT製品	2.6%	12.2%	4.2%	-1.0%	1.1%	-4.0%	15.6%	0.2%	3.7%	-2.0%			3.3%		
ガラス・土石製品	0.2%	6.8%	8.5%	4.6%	-2.0%	-7.7%	13.3%	-4.1%	3.0%	6.6%			2.9%		
水産・農林業	1.7%	14.8%	1.8%	1.5%	-3.5%	-4.5%	9.4%	0.3%	-0.1%	6.4%			2.8%		
情報・通信業	-3.9%	3.9%	1.9%	0.6%	1.1%	-2.8%	14.0%	-3.7%	5.2%	2.5%	1.9%				
その他金融業	-6.3%	24.9%	12.5%	2.4%	0.6%	-2.0%	25.6%	-1.5%	5.1%	-1.8%	6	4	5.9%		
建設	-0.7%	8.5%	9.7%	2.3%	-3.4%	-7.1%	18.2%	1.5%	5.3%	-1.4%			3.3%		
非鉄金属	-2.2%	7.3%	14.1%	-0.3%	-0.4%	-7.4%	6.1%	0.5%	5.5%	4.7%			2.8%		
小売業	-3.1%	10.2%	3.8%	4.7%	0.5%	-2.7%	12.7%	-1.7%	2.1%	-4.0%			2.2%		
繊維製品	0.0%	3.7%	13.9%	1.8%	-1.2%	-3.2%	8.9%	-2.3%	2.5%	-2.0%			2.2%		
食料品	3.7%	0.9%	-1.5%	-2.5%	3.0%	-3.0%	11.4%	1.7%	1.0%	-1.2%			1.4%		
パルプ・紙	-2.6%	5.4%	6.9%	6.4%	-8.3%	-5.8%	0.4%	-7.6%	10.8%	3.0%			0.8%		
不動産業	-0.8%	26.4%	14.0%	11.3%	-0.3%	-4.8%	24.5%	-4.8%	2.0%	-1.1%	5	5	6.7%		
保険業	-0.3%	23.5%	12.6%	6.3%	-0.3%	-10.7%	14.6%	-3.4%	7.3%	-3.1%			4.7%		
銀行業	-4.0%	28.5%	4.3%	0.0%	-2.8%	-6.9%	14.2%	-4.3%	10.7%	0.1%			4.0%		
鉄鋼	-4.2%	17.3%	21.9%	-5.8%	-6.5%	-12.5%	12.1%	-3.8%	2.6%	5.7%			2.7%		
TOPIX	-0.7%	12.0%	8.3%	0.8%	-2.0%	-5.9%	12.6%	-3.4%	3.2%	-0.5%			2.4%		
サービス業	-1.0%	3.2%	3.7%	4.8%	0.5%	-2.3%	12.9%	-2.1%	-0.4%	-0.7%			1.8%		
化学	-1.4%	8.3%	7.2%	0.2%	-0.3%	-3.8%	9.6%	-1.7%	-0.5%	0.6%			1.8%		
金属製品	1.8%	11.1%	6.3%	0.5%	-6.5%	-6.9%	12.1%	-4.7%	-2.1%	-0.3%	1.1%				
卸売業	-2.5%	11.0%	7.3%	-2.5%	-4.6%	-5.3%	4.4%	-3.0%	5.7%	0.1%	1.1%				
医薬品	1.8%	7.1%	1.3%	-2.3%	-0.1%	-5.1%	8.4%	-5.0%	-1.2%	2.6%	0.7%				
陸運業	-0.2%	1.1%	4.8%	1.0%	-5.3%	-4.0%	8.1%	-0.5%	2.2%	-1.2%	0.6%				
その他製品	6.2%	7.4%	-2.2%	0.7%	-9.1%	-10.1%	9.0%	-6.7%	6.1%	-1.6%	0.0%				
倉庫・運輸関連業	4.5%	4.6%	-4.4%	4.6%	-4.7%	-6.7%	4.1%	-3.4%	2.6%	-2.0%	-0.1%				
証券・商品先物	-4.7%	20.6%	17.5%	-2.2%	-7.6%	-9.6%	38.0%	-12.7%	6.7%	-4.8%	4	6	4.1%		
輸送用機器	-1.4%	8.2%	23.4%	-0.1%	-0.4%	-6.5%	13.4%	-4.8%	1.5%	-4.7%			2.8%		
鋳業	-1.5%	5.3%	-6.9%	-1.4%	-2.9%	-5.4%	-4.4%	10.2%	13.2%	3.4%			1.0%		
精密機器	1.7%	11.6%	-0.1%	0.6%	-2.7%	-4.3%	9.4%	-5.4%	-1.0%	-0.5%			0.9%		
空運業	-1.4%	-6.2%	-5.5%	11.5%	-4.7%	-6.5%	11.9%	2.0%	5.1%	-3.6%			0.3%		
電気・ガス業	-2.3%	-0.9%	-3.7%	-4.3%	-8.4%	-7.4%	19.1%	-7.7%	3.8%	-5.2%			2	8	-1.7%

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成

では最後に4月に上昇しやすい個別銘柄を見ていこう。東証1部に上場しており過去10年間の株価データを取得できた1,662銘柄について、3月末と4月末の株価を比較した騰落率を集計した。すると表4の通り、過去10年間4月にすべて上昇していた銘柄が1銘柄、9回上昇していた銘柄が19銘柄あった。一方で過去10年間1度も上昇しなかった銘柄が2銘柄、1度しか上昇しなかった銘柄が11銘柄あった。もちろん偶然によるところが大きいのだろうが、株価に一定の季節性が働いている可能性もある。上昇回数が多かった銘柄、少なかった銘柄はそれぞれ表5・表6に示した。今年も過去の傾向どおりとなるのか、ぜひ株価をウォッチしてみたいだろうか。

表4：過去10年間の4月の上昇回数別銘柄数

4月の 上昇回数	銘柄数	構成率
10回	1	0.1%
9回	19	1.1%
8回	78	4.7%
7回	173	10.4%
6回	327	19.7%
5回	427	25.7%
4回	360	21.7%
3回	196	11.8%
2回	68	4.1%
1回	11	0.7%
0回	2	0.1%
合計	1,662	100%

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成

表5：過去10年間に4月の上昇回数が多かった銘柄

銘柄コード	銘柄名	過去10年間の 4月の 上昇回数	過去10年間の 4月の 平均騰落率	3月27日終値 (円)	売買単位 (株)
6755	富士通ゼネラル	10回	20.5%	2,237	1,000
2735	ワッ	9回	11.2%	1,299	100
3022	山下医科器械	9回	5.5%	1,829	100
3050	D C Mホールディングス	9回	8.5%	1,015	100
3101	東洋紡	9回	6.7%	199	1,000
4041	日本曹達	9回	3.9%	617	1,000
4324	電通	9回	6.6%	6,020	100
5949	ユニプレス	9回	3.4%	2,268	100
6361	荏原製作所	9回	8.3%	3,395	100
6444	サンデンホールディングス	9回	7.7%	354	1,000
6516	山洋電気	9回	10.4%	823	1,000
6857	アドバンテスト	9回	3.7%	1,956	100
6858	小野測器	9回	6.3%	797	100
6971	京セラ	9回	7.2%	6,166	100
7646	P L A N T	9回	3.5%	1,179	100
7732	トプコン	9回	8.6%	2,085	100
8155	三益半導体工業	9回	3.8%	1,683	100
8227	しまむら	9回	8.5%	14,830	100
8798	アドバンスクワイート	9回	5.0%	1,939	100
9831	ヤマダ電機	9回	5.1%	576	100

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成

表6：過去10年間に4月の上昇回数が少なかった銘柄

銘柄コード	銘柄名	過去10年間の 4月の 上昇回数	過去10年間の 4月の 平均騰落率	3月27日終値 (円)	売買単位 (株)
1972	三晃金属工業	1	-4.5%	3,345	100
2201	森永製菓	1	-3.2%	5,250	100
2597	ユニカフェ	1	-3.8%	968	100
3361	トーエル	1	-9.0%	947	100
3770	ザッパラス	1	-8.8%	497	100
4538	扶桑薬品工業	1	-3.3%	2,883	100
5384	フジインコーポレーテッド	1	-2.4%	2,237	100
5821	平河ヒューテック	1	-2.8%	1,144	100
6507	シンフォニアテクノロジー	1	-2.9%	317	1,000
7637	白銅	1	-5.2%	1,773	100
8201	さが美	1	-2.1%	127	1,000
7482	シモジマ	0	-3.1%	1,205	100
8153	モスフード	0	-1.5%	3,340	100

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会